

氏名	丸岡 弘	部署	理学療法学科	職名	教授
研究分野	内部疾患理学療法学、運動生理学				
学位	博士(学術)、修士(工学)				
学歴	1989年芝浦工業大学、1994年日本大学大学院理工学研究科医療福祉工学専攻博士前期課程、2001年博士(学術)(乙)(日本大学 第5932号)				
経歴	1983年多摩丘陵病院、1984年埼玉県総合リハビリテーションセンター、1993年埼玉県立循環器病センター(仮称)準備事務所、1994年埼玉県立循環器・呼吸器病センター、2000年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科講師、2005年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科助教授、2009年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科教授、2009年埼玉県立大学院保健医療福祉学研究科保健医療福祉学専攻教授				
所属学会(役職)	日本理学療法士協会、日本運動療学会、日本心臓リハビリテーション学会(評議員)、理学療法科学学会、日本臨床生理学会、日本心臓病学会、日本運動生理学会、日本補完代替医療学会				

【2015年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
(2) 論文					
1	マウス下肢虚血の運動が酸化ストレスと血管新生因子に与える影響	共著	理学療法—臨床・教育・研究、16-20	松本純一、金村同彦、村田健児、亀田光宏、石神昭人、丸岡弘	2016.1
2	健常若年者における呼気および吸気最大口腔内圧と頸部・体幹筋力との関連性の検討	共著	理学療法—臨床・教育・研究、29-33	櫻井秋平、木戸聡史、丸岡弘	2016.1
(3) 学会発表					
1	慢性閉塞性肺疾患の6分間歩行における関連因子の検討	共同	第52回日本リハビリテーション医学会学術集会(於新潟市・朱鷺メッセ)	善田督史、馬島徹、清藤晃司、武原格、丸岡弘	2015.5
2	虚血モデルマウスにおけるビタミンC 摂取が血管新生や酸化ストレスにおよぼす影響	共同	第50 回日本理学療法学会学術大会(於東京・東京国際フォーラム)	丸岡弘、金村同彦、木戸聡史、井上和久、松本純一、石神昭人、関貴之、金子幸輝	2015.6
3	慢性閉塞性肺疾患に対する運動療法による効果の検討—心機能に着目した評価—	共同	第50 回日本理学療法学会学術大会(於東京・東京国際フォーラム)	善田督史、馬島徹、清藤晃司、野島永司、武原格、丸岡弘	2015.6
4	急性心筋梗塞患者の身体活動に関連する因子について—入院期諸因子と回復期身体活動との関連性—	共同	第21回日本心臓リハビリテーション学術集会(於福岡市・福岡国際会議場)	岡和博、丸岡弘、藤野祥子、上原美南海、大熊克信、五味川右、石田岳史	2015.7
5	足関節底背屈運動における自律神経機能と血行動態の変化	共同	第21回日本心臓リハビリテーション学術集会(於福岡市・福岡国際会議場)	秋葉崇、小川明宏、寺山圭一郎、根本亜友美、土谷あかり、阿左見祐二、清水一寛、中神隆洋、清川甫、中川晃一、丸岡弘	2015.7
6	急性心筋梗塞後の心臓自律神経機能と不安・抑うつの変化及び酸素摂取量の規定因子の検討	共同	第21回日本心臓リハビリテーション学術集会(於福岡市・福岡国際会議場)	小川明宏、丸岡弘、室橋郁生、寺山圭一郎、秋葉崇、清水一寛、中神隆洋、清川甫、中川晃一	2015.7
7	慢性閉塞性肺疾患における運動耐容能と右室機能の関連性	共同	第25回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会(於浦安市・東京ベイ舞浜ホテル)	善田督史、野島永司、馬島徹、清藤晃司、武原格、丸岡弘	2015.10.
8	労作時低酸素血症を呈した慢性閉塞性肺疾患患者の介入効果-外来リハビリテーションによるQOLの改善	共同	第21回千葉県理学療法士学会	善田督史、馬島徹、清藤晃司、丸岡弘	2016.3

(4) その他				
1	該当なし			
2. 競争的資金等の研究				
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	科学研究費補助金(基盤研究C)	虚血モデルマウスにおける血管新生や酸化ストレスから見た運動やビタミンC摂取の影響(研究代表者)	2014.6~2017.3	
2	埼玉県立大学奨励研究費(学長指定研究)	心疾患患者維持期における心臓リハビリテーション集団運動療法の実施についての試み(研究分担者)	2014.6~2017.3	
3	産学共同研究費	簡易リンパドレナージ開発にかかる測定・検査・分析事業(研究代表者)	2015.4~2016.3	
4	埼玉県立大学奨励研究費(C)	虚血下肢が酸化ストレスにおよぼす影響(研究代表者)	2015.4~2016.3	
3. 教育業績				
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
(1) 講義				
1	心肺系理学療法学	2015.4~2016.3	授業評価を基にした講義と実習内容の改善	
2	腎代謝系理学療法学	2015.4~2016.3	授業評価を基にした講義と実習内容の改善	
3	臨床心電図解析演習A、臨床心電図解析演習B	2015.4~2016.3	心電図を学ぶために工夫した演習と実習の実践	
4	理学療法症候障害論	2015.4~2016.3	内部疾患領域に関するグループ討議の実践(大学院博士課程)	
(2) 演習				
1	卒業課題研究	2015.4~2016.3	学生主体による研究課題の実践(保健医療福祉学部)	
2	地域リハビリテーションⅡ	2015.4~2016.3	グループ討議・実習の実践	
3	神経障害理学療法実践テュートリアル	2015.4~2016.3	テュートリアル教育の実践・専門科目への展開	
4	内部障害理学療法実践テュートリアル	2015.4~2016.3	テュートリアル教育の実践・専門科目への展開	
5	循環系理学療法の臨床実践	2015.4~2016.3	デモンストレーションと実技指導によりわかりやすい授業の実践、学習到達目標を踏まえた実習の実践	
6	理学療法セミナー(OSCE1)、理学療法セミナー(OSCE2)	2015.4~2016.3	学外の臨床実習前における理学療法統合化の実践	
7	博士論文特別研究	2015.4~2016.3	院生主体による研究課題の実践(大学院博士課程)	
8	理学療法症候障害論演習	2015.4~2016.3	研究方法を学ぶために工夫した演習の実践(大学院博士課程)	
9	リハビリテーション学特別研究	2015.4~2016.3	院生主体による研究課題の実践(大学院修士課程)	
(3) 実習				
1	内部障害理学療法学実習	2015.4~2016.3	授業評価を基にした講義と実習内容の改善	
2	臨床教育実習Ⅰ、臨床教育実習Ⅱ、臨床教育実習Ⅲ(前半・後半)	2015.4~2016.3	学外の臨床実習を通じて、理学療法統合化の実践	
(4) 論文指導				
1	学位(修士)論文指導	2015.4~2016.3	指導教員:2名	
2	学位(修士)論文審査	2015.4~2016.3	主査:1名	
3	学位(博士)論文指導	2015.4~2016.3	指導教員:3名	
4	卒業課題研究指導	2015.4~2016.3	指導教員:2名	
(5) その他				
1	学部生(1年~4年)に対するゼミを実施し、就学支援	2015.4~2016.3	1年:3名、2年:2名、3年:2名、4年:2名に対して月1回程度でゼミを実施、ポートフォリオを用いた就学支援を行った	
2	大学院生(博士前期、博士後期)に対するゼミを実施し、研究支援	2015.4~2016.3	博士前期:3名、博士後期:3名に対して月1回程度でゼミを実施、研究支援を行った	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会等の講師				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	第13回抗酸化・酸化ストレスセミナー	国際酸化ストレス研究会	理学療法領域における酸化ストレスの有用性	2015.7
2	埼玉内部疾患系リハビリテーション研究会第40回研修会	埼玉内部疾患系リハビリテーション研究会	心不全のフィジカルアセスメント パート1	2015.11

3	埼玉内部疾患系リハビリテーション研究会 第41回研修会	埼玉内部疾患系リ ハビリテーション 研究会	心不全のフィジカルアセスメント パート2	2015.11
4	埼玉県立大学実習指導者講習会	埼玉県立大学	循環系のフィジカルアセスメント	2015.9
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称		任期
1	該当なし			
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
5. 学内運営(委員会委員)				
1	研究推進委員会委員			
2	共同実験管理部会(部会長)			
3	名誉教授審査委員			
4	地域専門職連携推進部会員			
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の保有状況				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
	該当なし			